

四国における食・農業関連 国際協力事業について

2021年2月10日

独立行政法人 国際協力機構四国センター
船越/多田

アジェンダ

1. JICA四国概要
2. JICA四国における取組み紹介
 - 1) 課題別研修事例説明
 - 2) 民間連携スキーム事例説明
3. 照会先説明/質疑応答

1. JICA四国概要

JICA とは、国際協力の「触媒」であり、「世界の支え合い」を促進する機関



<世界の公的開発機関>



- <強み>
- 官公庁
 - 公的機関(JETRO等)
 - 大学等の高等教育機関
 - 民間企業
 - NPO/NGO
 - 地方自治体 等
- の持つ技術・経験および資金

- <弱み>
- 海外との関係なしに国が成り立たない
 - 少子高齢化
 - 働き手不足
 - 国際化の遅れ 等



<日本>



資金協力、技術協力、市民参加協力、
民間連携、研修事業、ボランティア派遣等



<発展途上国>

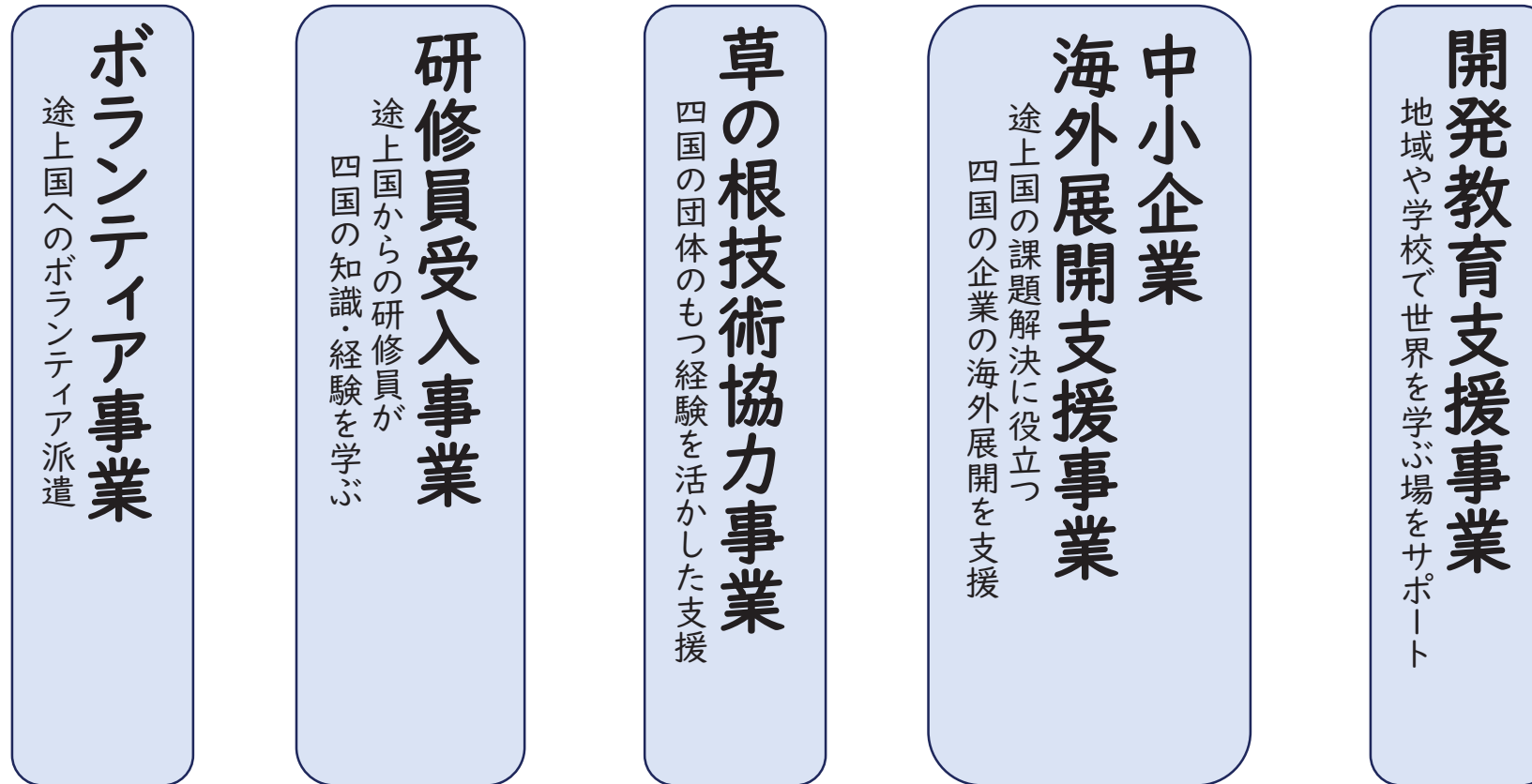
- <強み>
- 巨大なマーケット
 - 豊富な労働人口
 - 様々な資源
 - 有力新興企業 等

- <弱み>
- 多岐に渡る課題
 - 国の資金力 等



<世界のNPO/NGO/民間企業等>

JICA四国は、5つの事業で四国と途上国をつないでいます。



国際協力を通じて四国の活性化・多文化共生にも貢献

2. JICA四国における取り組み紹介 (研修事業)

研修事業



①短期研修（2週間から3か月程度）

■本邦研修（日本で学ぶ、研修員が渡航）

- ・課題別研修：エキスパート、中堅行政官の育成
- ・青年研修：若手行政官の分野知識拡充、日本理解
- ・日系社会研修：中南米の日系リーダーの育成、日系コミュニティ支援
- ・国別研修：特定国に向けたオーダーメイド型研修

■その他：現地研修（相手国で学ぶ、日本人が渡航）、第三国研修（南南協力）



課題別研修
「島嶼国総合防災」修了式の様子

②長期研修（1年以上～3年程度）

- ・日本での学位取得（修士、博士）、日本企業でのインターンシップの実施等
- ・研修共通目的：優秀な人材・親日派の育成、そして日本の強みの再認識（そして輸出）
- ・四国センターの役割：「途上国の課題」と「四国の強み」の掛け合わせができるような
研修の企画・実施（研修事業のプロデュース）



長期研修員インターンシップの様子
(株)サンテック

(事例) 課題別研修

「地域アグリビジネス振興のためのフードバリューチェーン構築（英/西）」



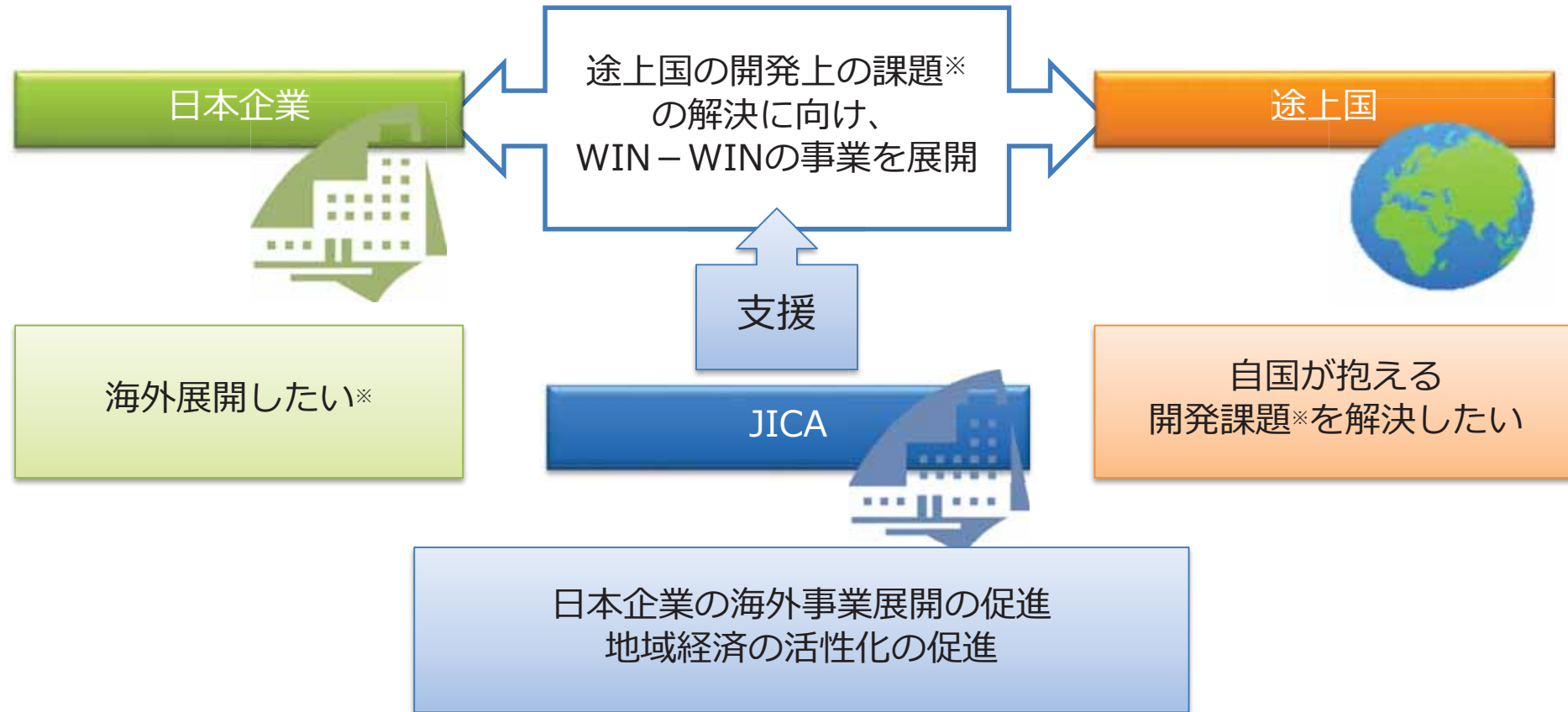
- ・目的：日本、高知県での経験を以て、安全な農産物・食品の「生産」から「消費」までの一貫した高付加価値化に向けた計画・実行支援を行うもの。途上国の経済発展、本邦企業の海外事業促進、ひいては世界の食糧安全強化に貢献。
- ・内容：①講義：農業の6次産業化に係る産官学の取り組みおよび方針の紹介
②ディスカッション：研修員同士の学び合い（自国の課題共有、日本の事例の適用方法協議等）
③ビジネスマッチング：JICA食と農の協働プラットフォーム（JiPFA）等を活用
- ・対象者：各国におけるFVC構築で重要な役割を果たす組織の者（産官学）
- ・対象国：①英語圏（アジア、アフリカ） ②スペイン語圏（中南米）
- ・期間：2020年度～2022年度（各年度各コース1-2回ずつを実施）
- ・研修委託先：国立大学法人 高知大学



2. JICA四国における取り組み紹介 (民間連携事業)

中小企業・SDGsビジネス支援事業とは

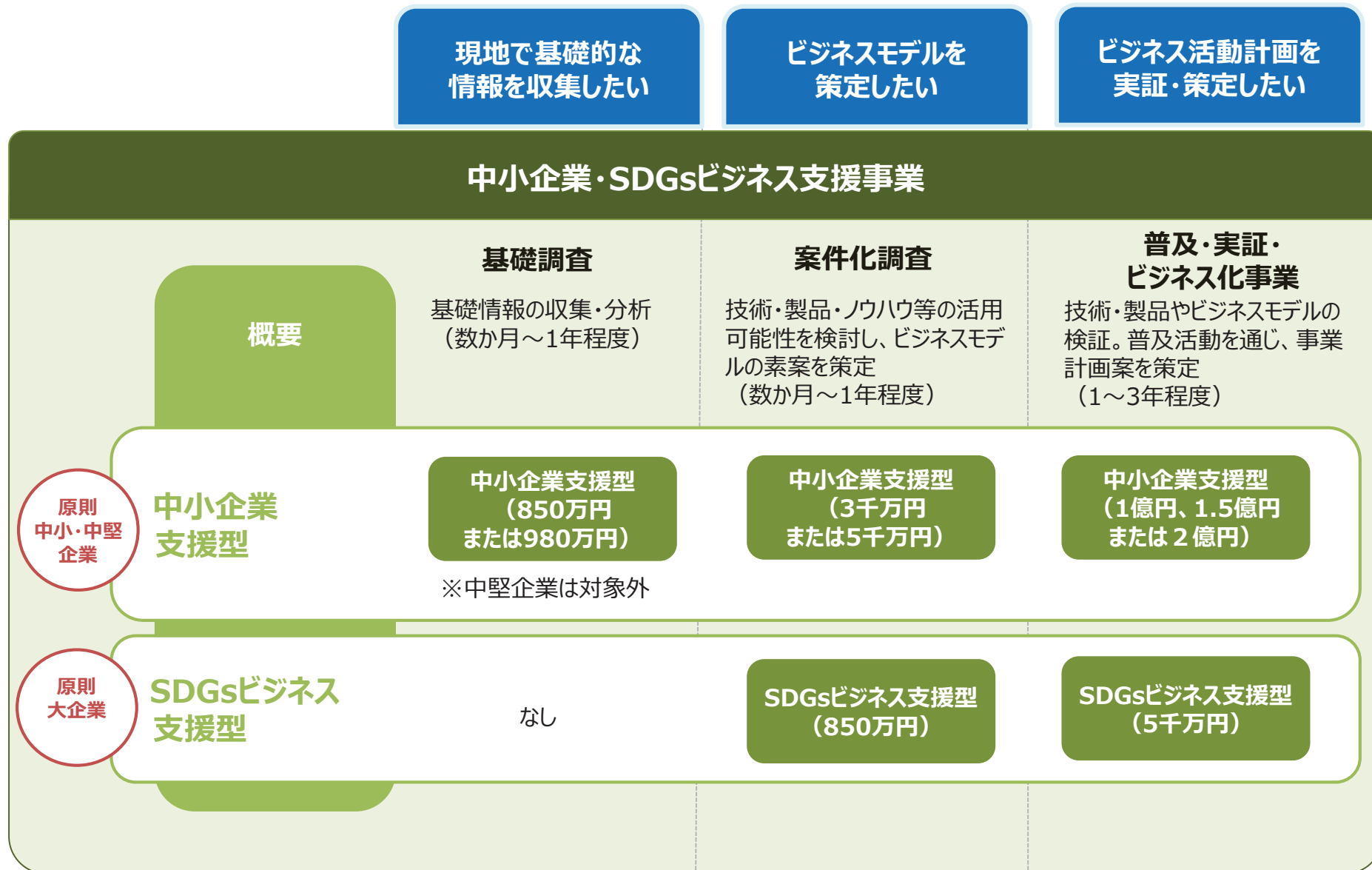
- 途上国の開発ニーズと民間企業の製品・技術のマッチングを支援します。



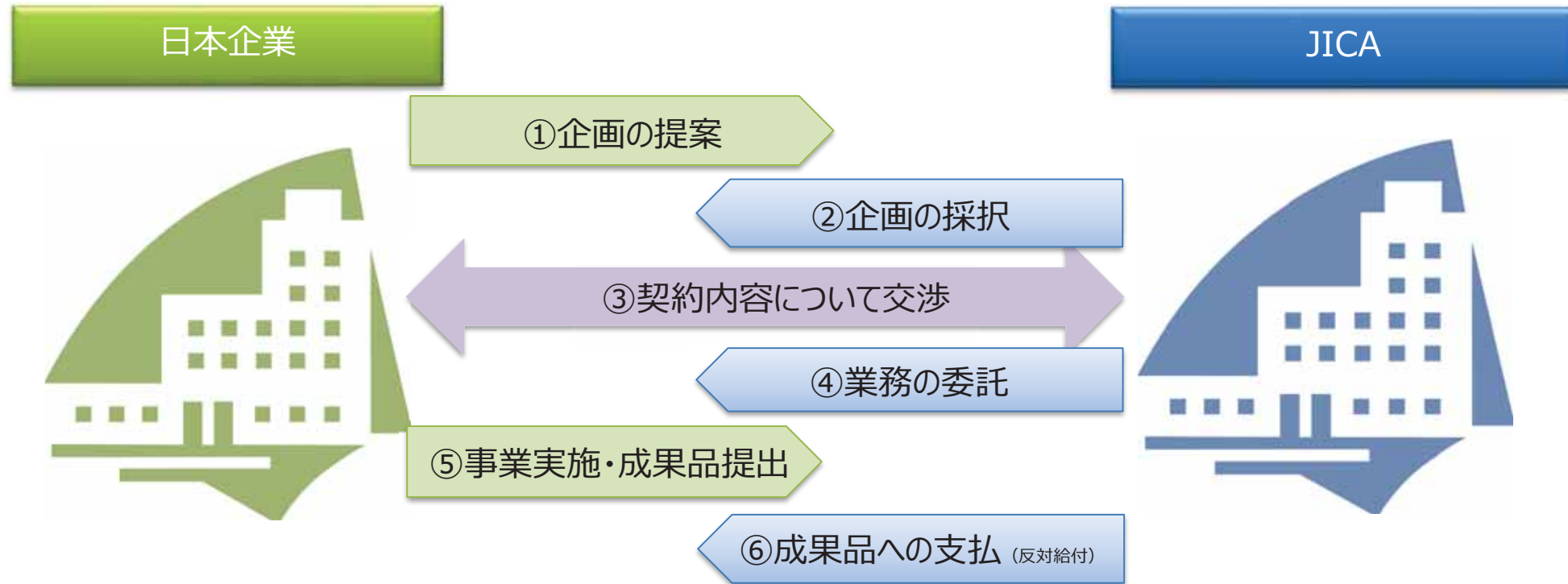
※自社の製品や技術を用いて解決できる途上国の問題が、日本の援助方針に沿ったものか確認いただくのにご活用ください。
各国の政治・経済・社会情勢や、開発に関する計画・課題を総合的に勘案して作成する日本の援助方針です。

国別開発協力方針 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/seisaku/kuni_enjyo_kakkoku.html)

中小企業・SDGsビジネス支援事業（概要）



本事業は「委託事業」です



- ① 企業からJICAへ本事業の企画書を提案。
- ② 企画書の内容を踏まえ、JICAが企業の企画を採択。
- ③ 業務委託内容は、契約交渉で決定（内容や見積額が、企画書段階から変更となる場合あり）。
- ④ JICA（発注者）と企業（**受注者**）間で業務委託契約を締結（補助金事業ではない）。
- ⑤ 企業（**受注者**）が業務結果をまとめた「業務完了報告書」（＝成果品）をJICA（発注者）に提出し、JICAの検査に合格する必要あり（補助金事業ではない）。
- ⑥ 検査合格後、企業（**受注者**）からJICA（発注者）に精算報告書を提出。JICAが内容を精査したうえで精算確定を行い、同精算確定額を企業（**受注者**）に支払う（実績に基づく事後払い）。

採択事例

ベトナム国 徳島式土壌改良法による園芸作物の生産性と品質の向上にかかる

企業・サイト概要

- 提案企業 : ①徳島港湾荷役株式会社
②株式会社農家ソムリエーズ
③有限会社檜山農園
- 提案企業所在地 : 徳島県徳島市、小松島市
- サイト・C/P機関 : ベトナム国ハナム省農業農村開発局

案件化調査



徳島式で生産される安全高品質野菜

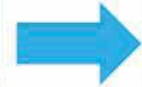
ベトナム国の開発課題

- 安定した生産性と信頼性のある農産物流通
- 農産物安全性向上
- 高付加価値化ニーズと農家収入向上

中小企業の技術・製品

徳島式土壌改良法

= 伝統的川砂・海砂主体の客土+BLOF理論



- ①安心・安全な野菜類の生産
- ②高品質で食味の良い野菜類の生産

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 消費者ニーズの高い安心・安全で高品質な野菜類の生産
- ハナム省と共同し、品質管理を行った野菜のブランド化
- ブランド化された野菜栽培と流通形態のパイロットモデル構築

日本の中小企業のビジネス展開

- 徳島式土壌改良法で生産した農産物のフードバリューチェーン構築とベトナム国内、第三国への展開

3. 照会先

① 中国地域

JICA中国 総務課 大西、遠藤、大林、濱崎

cictad@jica.go.jp 082-421-6300

② 四国地域

JICA四国 業務課

・民間連携事業： 多田 Tada.Atsushi2@jica.go.jp 087-821-8834

海外展開アドバイザー：益川（高知県商工労働部工業振興課内）

・研修事業/上記以外の事項：船越 Funakoshi.Yohei@jica.go.jp 087-821-8826

ご清聴ありがとうございました。

